



世界にはばたくジャンパーをここ手稲から 「札幌手稲スキー協会」

◀小学生2部で3位になった
なかじまたかゆき
同協会中島貴之君のジャンプ



▲手稲山山ろくで実施した歩くスキー



▲毎年3月開催の「手稲山雪の祭典」では、
競技運営を担っています

平成21年12月20日、手稲山シャンツェにて「第11回手稲山シャンツェジュニアジャンプ大会」が開催されました。未来のジャンパーたちが飛距離を競うこの大会を主催しているのが「札幌手稲スキー協会」です。

同協会は平成7年に設立され、現在会員は大人から子どもまで合わせて約60人。手稲のスキー競技振興を目的に、ジャンプやアルペンスキーのジュニア育成や、中高年を含めた歩くスキーの普及などの活動を行っています。

同大会には、札幌市内外からたくさんのジャンパーが参加。小学校入学前の子どもを対象としたミニヒル（K点10メートル）、小学生1部（1～4年生）・2部（5～6年生）、中学生の部が手稲山シャンツェ（K点30メートル）のジャンプ台を使用して実施され、同協会からは、小学生2部から3位、ミニヒルから2位を輩出する活躍でした。

同協会会長井幡篤憲^{いばたあつのり}さんは「手稲はこんなに近くに手稲山があり、スキーをするには素晴らしい環境です」と話します。この環境の中で育った子どもたちの中から世界選手権で活躍する選手も生まれました。「これからもここ手稲から世界で活躍する選手がたくさん育ってほしいと思います」と熱く語ります。

「今月には第65回国民体育大会冬季大会が開催されます。手稲山を会場にジャイアントスラローム（大回転競技）が行われるので、ぜひたくさんの方に見に来てもらい、スキー競技に関心を持ってほしい」と話してくれました。

編集 手稲区役所総務企画課広聴係

ホームページ「ていねっていいね」<http://www.city.sapporo.jp/teine/>

〒006-8612 札幌市手稲区前田1条11丁目

☎681-2400内線224 FAX681-6639